



広
報

もとぶ

2025

9

September | 第438号

もとぶかりゆしゴールド 旬入り宣言!



- 「もとぶかりゆしゴールド」旬入り宣言! 2
- 県産品優先使用の要請行動が行われました 3
- 令和7年第9回本部町農業者の集いが開催されました 4
- 「社会を明るくする運動」伝達式・出発式を実施 5
- 本部高校 NEWS 6
- 情報広場 7 ~ 11
- もとぶ野毛病院が子ども・子育てゆいまーる基金へ100万円寄附 12

おいしい季節がやってきたね。

**みんなで
元気いっぱい
味わって!**



私たちの町
令和7年7月31日現在

世帯数: 6,784世帯(+12) 人口: 12,907人(+15) 男性: 6,570人(+13) 女性: 6,337人(+2) () 前月比



力を合わせれば、大きな成果につながるよ。一緒にがんばろう

特集

SPECIAL EDITION

「もとぶかりゆしゴールド」旬入り宣言！

町内外へ甘さと魅力を発信

7月11日(金)、もとぶかりゆし市場前広場にて、「もとぶかりゆしゴールド旬入り出荷式」が開催されました。本部町農林水産課の主催により、本部町の特産であるパイナップル「もとぶかりゆしゴールド」の旬を広くPRすることを目的としたものです。

式では、平良武康町長が「お互いがセールスマンとしてパイナップル産業を盛り上げていきましょう！」と呼びかけ、もとぶかりゆし市場生産者の会・高良久会長も「今年もとても甘くて美味しいパイナップルに仕上がっていますので、もとぶかりゆしゴールドを県内外に届けてPRしたい」と力強く語りました。

当日は美ら咲保育園の園児たちによるくす玉割りも行われ、出荷式に華を添えました。

今年は50〜60トンの出荷を見込んでおり、贈答用やふるさと納税の返礼品としても人気が高まっています。

「もとぶかりゆしゴールド」は、品質の高さから注目を集めており、近年では栽培農家も増加。今後はビニールハウスの整備や種苗の増殖を進め、更なる生産拡大が期待されています。

パイナップル産業を盛り上げていきましょう！



県道84号線・国道449号道路整備 住民総決起大会を開催

7月1日(火)、本部文化交流センターにて「県道84号線・国道449号道路整備の早期完成を求める住民総決起大会」が開催され、町内から約500名が参加しました。

この大会は、本部町商工会を主催に、町内各種団体の共催で行われたもので、観光や地域生活に欠かせない重要な幹線道路である県道84号線および国道449号の整備の早期実現を訴えるものです。

両路線は、交通の要所であるとともに、住民の安全な通行や観光・物流の基盤として極めて重要な役割を担っています。しかし、整備の遅れにより歩道の狭さや未整備用地の景観悪化、安全確保への課題が続いており、住民の「いのちと暮らし」にも大きな影響を及ぼしています。

参加者からは「地域の発展のためにも、一刻も早い完成を」との声が多く上がり、関係機関への強い要望として大会決議が採択されました。





県産品優先使用の要請行動が行われました



平良武康町長(右)に要請書を手渡す銘苅敏明団長

7月9日(水)、本部町役場において、県産品推奨月間実行委員会による「県産品優先使用の要請行動」が行われました。

この取り組みは、毎年7月を「県産品推奨月間」と定め、県内各地で県産品の利用促進活動を展開するものです。今年は「見つけよう 私の推しの県産品」を標語に、県産品への理解を深め、県内自給率の向上を図ることを目的として活動が展開されています。

当日は、実行委員会の構成団体が本町を訪れ、本町に対し県産品の優先使用を呼びかけました。町としても、地域経済の活性化や持続可能な社会づくりに資する県産品の活用に、引き続き積極的に取り組んでまいります。

本部町商工会が町産品優先使用の要請



7月1日(火)、本部町商工会は本部町役場を訪れ、町産品の優先使用および町内業者への優先発注について、本部町・本部町議会・本部町教育委員会へ要請を行いました。

この要請は、町内産業の振興と地域経済の活性化を図ることを目的としたもので、町が発注する物品や業務委託などにおいて、町産品の積極的な活用と町内事業者への優先的な発注を求める内容となっています。



平良武康町長に要請書を手渡す松田商工会長(左から4人目)

大成建設によるビーチクリーン・幹線道路清掃活動を実施



6月20日(金)、本部町瀬底ビーチおよび周辺幹線道路において、「大成建設九州支店安全衛生環境協力会沖縄支部」による清掃ボランティア活動が行われました。

この活動は、ヒルトン瀬底ビーチリゾートの建設工事に際しお世話になった地域への感謝の気持ちを込めて実施されたもので、瀬底ビーチなど町の観光資源の美化と保全を目的としています。

当日は県内の協力企業35社から約70名が参加し、海岸のごみ拾いや道路沿いの清掃に汗を流しました。

今回で3回目となるこの取り組みは、回を重ねるごとに地域への理解とつながりを深める貴重な機会となっています。

主催者からは「今後も継続的に清掃活動を行い、地域への貢献を続けたい」との声が寄せられました。



令和7年第9回本部町農業者の集いが開催されました



6月24日（火）、本部町文化交流センターにて「令和7年第9回本部町農業者の集い」が開催されました。

本イベントは、「本部町の農業を元気にするネットワークの会」が主催するもので、町内の農業者同士の情報交換や連携を促進し、地域農業の発展と産業の活性化を目的としています。

同会は平成26年に設立され、今年で11周年を迎えました。会場では、農業の現場での取り組みや課題を共有など、意見交換が行われ、参加者同士の活発な交流が見られました。今後も、町内農業の振興に向けたネットワークづくりが期待されます。



南富良野町親善交流団が来町 本部町との児童交流、33回目を迎える



6月30日（月）、北海道の南富良野町親善交流団が本部町を訪れました。本部町と南富良野町は、いずれも国体のカヌー競技開催地となった縁をきっかけに、平成2年から児童生徒の相互派遣による交流を続けており、今年で33回目を迎えます。

今回の訪問では、南富良野町の久我博文団長をはじめ、随行者4人と小学6年生17人の児童が来町しました。本部町内の家庭にホームステイしながら、地域の生活や文化にふれ、自然環境の違いを実感することで、郷土愛や社会性、自主性、責任感を育むことを目的としています。

受け入れ先となった本部小学校6年の大城^{けんしん}健慎さんは「交流が楽しみです」と笑顔を見せ、南富良野小学校6年の伊賀^{れおん}蓮音さんは「北海道と文化の違いを学びたいです」と意欲を語っていました。

音楽に込めた平和への願い「平和の歌コンサート」開催



7月6日（日）、もとぶ文化交流センターにて、本部町教育委員会主催の「平和の歌コンサート」が開催されました。

今年は戦後80年の節目にあたることから、「6月の空に祈りを込めて」をサブタイトルに、平和の尊さと争いの悲惨さを次世代に伝える機会として企画されたものです。

来場者は、歌や演奏に耳を傾けながら、平和への願いをあらためて心に刻むひとときとなりました。音楽を通じて、世代を越えて平和の大切さを共有する貴重な時間となりました。





安全に走れることが一番すてき。優勝おめでとう！

「社会を明るくする運動」伝達式・出発式を実施



7月3日(木)、本部町役場にて令和7年度「社会を明るくする運動」伝達式・出発式が行われました。

この運動は法務省が主唱する国民運動で、犯罪や非行のない地域社会を実現するために、地域住民一人ひとりがその重要性を考え、行動することを目的としています。

式では、「明るく安心して暮らせる地域社会の実現には、地域全体の協力と理解が不可欠」との趣旨が伝えられ、参加者は地域ぐるみでの取り組みの意義を再確認しました。

上本部学園が第46回交通安全こども自転車沖縄県大会で団体・個人ともに優勝！



7月3日(木)、本部町役場にて「第46回交通安全こども自転車沖縄県大会」での優勝報告が行われました。

この大会は、交通ルールの知識や自転車走行の技術を競うもので、上本部学園が団体の部で2年ぶりの優勝を果たし、さらに、主将の久保将輝さんが個人の部でも見事優勝を飾りました。同学園は8月6日(水)に東京都で開催される全国大会へ派遣されます。

出場したのは、6年生の選手4人と控え選手2人。選手たちは「緊張したけど楽しかった。全国でもがんばって優勝したい」と、全国大会への意気込みを語ってくれました。



女性連合会が初の寄せ植え講座を実施



本部町女性連合会は7月2日(水)、海洋博公園熱帯ドリームセンター内で寄せ植え体験を行いました。

この体験は「海洋博公園 植物園ボランティア」の一環として実施されたもので、会員30人が参加しました。講師には海洋博公園植物課主査の瀬底奈々恵さんを迎え、「夏に楽しめる寄せ植え」をテーマに実習が行われました。

使用した植物は、ローズマリー、スペアミント、ヒメマツバギク、ストケシア、テランセラの5種類。瀬底さんは寄せ植えのコツや鉢の置き場所、配置の工夫を丁寧に解説し、「生活の中にもぜひ育てた植物を取り入れてみてください」と呼びかけました。

山城幸恵会長は、「お花が好きなメンバーが多く、初めての寄せ植え講座には定員を上回る申込がありました。ハーブと花の組み合わせで、長期間楽しめる鉢に仕上がりに、大変好評でした」と笑顔で語りました。



令和7年度 8月号

もとぶ
高校
魅力化プロジェクト

小さな学校 大きな夢

本部高校 NEWS



vol.28

受験&夏期講習スタート！3年生がんばれ！



夏休みが始まり、いよいよ受験モード突入！総合型選抜に挑む3年生たちは、先生方と一緒に面接や書類の準備を進めています。学校では夏期講習もスタート！それぞれの目標に向けて、自分のペースで頑張る生徒たちの姿が見受けられます。

野球部

北部大会 3勝大健闘！



新人北部大会で本部高校は3勝3敗の成績を収めました。強豪エナジック戦では一時リードを奪うなど健闘し、大きな自信を得る大会となりました。

メンタルトレーニング



試合で勝てる最強メンタルを手に入れようと、外部講師を呼んで、日頃から①良い表情②良い言葉③良い行動などのプラスの感情を心掛ける事の大切さを学んでいきました。

運動部 合同実施

バレー部

2大会で見事優勝！



7/27開催の本部町のふとモークップ、8/17開催の北部バレーボールまつりで、本校バレー部が見事優勝！仲間と力を合わせ、白熱の試合を制しました。

夢実現武 \もとぶ牧場さん寄贈/

メンチカツサンドで地域の子とも達と交流



伊野波公民館にて

8月18日、もとぶ牧場から寄贈されたメンチカツサンドを通じて、夢実現武が小学生たちとの交流会を実施。簡単なゲームやアイロンプリントでバッグなどをデザインしたり親睦を深めたあと、みんなでメンチカツサンドを楽しみました！

部活生たちも大活躍

編集後記

夢実現武 遠足

[編集担当 / 高校魅力化CN 田辺 由香里]



「ビーチパーティー」



8/7に一般社団法人「chakka(チャッカ)」を立ち上げました！引き続き、教育事業に携わっていきます。応援よろしくお願いします♡

夢実現武内の先輩・後輩同士の交流を深めようと、8/4、今帰仁村民の浜でビーチパーティーが行われました。3年生と触れ合えるのも、残りわずか！今のうちに色々と交流して、コミュニケーション力を磨いていきましょ～！



LINE



Instagram

0907700110000_000000000000



海のレジャーにはライフジャケット着用の徹底 AED設置による講習会の開催

町内の海のレジャーを安心安全に楽しみ、水難事故防止を図る目的に8月6日、心肺蘇生・自動体外式除細動機（AED）使用方法の講習会が備瀬区公民館でありました。

令和6年度に本部町内で水難事故が多発し、同年10月に本部町水難事故防止協議会を設置。水難事故発生地域でも特に潮の流れが早い備瀬崎において、水難事故による人命救助をいち早く行うため、今年3月にAEDを備瀬崎に設置しました。

講習会には、備瀬崎で駐車場を管理する備瀬区老人会が15名参加しました。参加者は二人一組になり、AED導入業者の指導を受け、一刻を争う心肺蘇生とAEDの使用手順を確認しながら行いました。

初めてAEDを使用した仲村一郎さんは「心肺蘇生には、思った以上に力が必要。AED使用に慌てたが、実際の人命救助の際は、冷静になって救助しなければならない。」と話しました。

備瀬区の喜屋武朝明区長はAEDを使用する必要があるように「ライフジャケット着用の徹底。多言語放送で注意喚起を呼びかける。地域でレジャー客に声かけし、水難事故防止に取り組む。」と意気込みました。



町内の子どもの笑顔をお届けするコーナーです！



生まれてきてくれてありがとう！
大好きだよ！

もとぶっ子
写真館

やりみず るあん
鎗水 琉空ちゃん
(0歳3ヶ月)

【募集対象】町内在住の0～7歳

【応募方法】本部町子育てLINE公式アカウントのトーク機能から必要事項を記入し、画像データを添付の上送信してください。

【必要事項】①お子さんの名前、②ふりがな、③年齢または月齢、④一言コメント

●応募数によって掲載時期が変動しますのでご了承ください。

本部町子育て

LINE友達追加 ▶▶▶ ID: @vfr8854q



第41回もとぶ展開催・作品募集のお知らせ

【開催日】令和7年11月22日（土）・23日（日）

オープニングセレモニー・プレオープン：

令和7年11月21日（金）午後4時予定

【会場】もとぶ文化交流センター

【展示】絵画・写真・書道・生花・陶芸・染織・手工芸・木工芸
…他

【作品募集期間】令和7年9月16日（火）～10月31日（金）

申込票は本部町教育委員会、もとぶ文化交流センター窓口で配布しています。

【申込方法】所定の出品申込票に必要事項を記入の上、本部町教育委員会へ提出

受付：午前9時～午後5時まで（※土日祝日を除く）

※展示品は令和7年11月19日（水）から20日（木）の間で各自搬入、23日（日）に各自回収をお願いします。



問 本部町教育委員会 社会教育班（本部町役場内 2F） ☎ 0980-47-2206



いざという時に備えて、家族で確認しておこう

消防だより

地震・津波から身を守ろう！



地震が発生し、津波が来るとき、あなたはすぐに動けますか？津波は予想より速く、想像以上に危険です。揺れを感じたら迷わず高台へ避難しましょう。そして命を守る行動を、日頃から準備しておきましょう！

1. 津波注意報が発表された時の行動

- ・海の中にいる人はただちに海から上がって、海岸から離れましょう。

2. 津波警報・大津波警報が発表された時の行動

- ・ただちに高台や頑丈な建物の上階など安全な場所に避難しましょう。

3. 日頃からの備え

- ・防災マップで危険な場所を確認しましょう。
- ・地域の高台や避難場所を確認しましょう。
- ・地域の避難訓練に参加しましょう。



本部町
防災マップ



気象庁HP

種類	予測される津波の高さ	表現
大津波警報	10m超	巨大
	10m	
	5m	
津波警報	3m	高い
津波注意報	1m	—

本部町今帰仁村消防組合

本部消防署 ☎0980-47-7119

今帰仁分遣所 ☎0980-56-1119



Instagram



農業保険がすべての農業者をサポートします！

～ 農業経営には様々なリスクがあります～

収入保険(様々なリスクをカバー)

- ・青色申告を行っている農業者が対象です。
- ・原則すべての農作物を対象に、自然災害や価格低下だけでなく、新型コロナウイルス感染症の影響など、農業者の経営努力では避けられない収入減少を広く補償します。

(花、野菜、果樹、たばこ、畑作物、米、さとうきび、しいたけ、はちみつ、茶など)

・新規加入は、令和7年12月末まで

自然災害で減収



市場価格の低下



病気で収穫不能



農業共済(自然災害リスクをカバー)

- ・米、さとうきび、農業用ハウスなどが自然災害によって受ける損失を補償します。
- ・牛、豚、馬などの家畜については、死亡などした場合の補償と病気やケガの治療費を補填します。

※ 園芸施設共済(農業用ハウス)について
⇒ 集団加入をすると掛金の割引があります。
また、補償メニューの選択により、通常より大幅に安く加入することもできます。



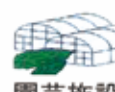
水稻



さとうきび



家畜



園芸施設

農業保険は国の公的保険制度で、保険料等(掛金)の国庫補助があります。

お問合せ

○収入保険・農業共済について

詳しい内容は最寄りの農業共済組合へ

沖縄県農業共済組合(北部支所) TEL 0980-52-4082



○青色申告について

お近くの税務署、JA等へ

相続登記の義務化のお知らせ

令和6年4月1日(月)から相続登記の義務化がスタートしました。

相続により所有権を取得したことを知った日から3年以内に相続登記を申請する必要がある、令和6年4月1日(月)よりも前の相続も、義務化の対象となります。

正当な理由がないのにその申請を怠ったときは、10万円以下の過料に処される可能性もあります。

詳しくは、法務省のホームページをご覧ください。

※注意

法務局では、相続の内容についての相談はお受けできません。相続登記の申請方法についてご不明な点がある場合や、具体的な相続に関する内容については、登記の専門家である司法書士に相談することをお勧めします。

法務省ホームページはこちらから▶

https://www.moj.go.jp/MINJI/minji05_00343.html





体を動かすと、心も体もすっきり元気になるね



9～10月は行政相談月間です

「行政相談制度」は、役場など行政の仕事に関する苦情や要望等をお受けして、その解決を促進するとともに、皆さまの声を行政に役立てるものです。

総務省では、毎年9月と10月を「行政相談月間」と定め、広く国民の皆さまに行政相談制度や行政相談委員会を知っていただき、ご利用いただくため、行政相談所の開設等下記種行事を実施いたします。



本部町においては、次の日程で行われています。相談に応じる行政相談委員は宇根良克さんです。

【日時】毎月第3水曜日 午後2時～4時

【場所】谷茶公民館 ☎0980-47-2108

【利用方法】谷茶公民館へ電話で事前予約が必要です

また、沖縄行政評価事務所でも、下記のとおり電話等で相談を随時受け付けています。

☆秘密厳守☆お気軽にご相談ください☆相談無料☆

沖縄行政評価事務所 きくみみ沖縄

行政苦情110番 ☎098-867-1100

※休日、祝日および平日の午後4時45分～翌午前9時は留守番電話で対応



令和7年度の住民健診について

住民健診は医療機関（個別健診）や集団健診で受けることができます。年に一度必ず受診しましょう。

【個別健診】

お近くの病院	電話番号	基本健診	肺がん	大腸がん	胃がん	子宮がん	乳がん
もとぶ記念病院	0980-51-7007	○					
もとぶ野毛病院	0980-47-3001	○	○	○	○		
やまだクリニック	0980-47-6660	○	○	○			
北部地区医師会病院	0980-52-0777	○	○	○		○	○

- ①各医療機関のお問い合わせ先にてご予約ください。
- ②特定健診受診券やがん検診受診券など必要なものを持参して受診ください。

【集団健診】

日程	受付時間	会場	基本健診	肺がん	大腸がん	胃がん	子宮がん	乳がん
9/27 (土)	午前8時30分～10時30分	本部町役場	○	○	○	○	—	—
10/18 (土)			○	○	○	○	—	—
10/31 (金)	午後2時～3時	もとぶ文化交流センター	—	—	—	—	○	×

- ①下記のお問い合わせ先にてご予約ください。
- ②特定健診受診券やがん検診受診券など必要なものを持参して受診ください。

☎ 健康づくり推進課 ☎ 0980-47-5602



後期高齢者医療保険 被保険者のみなさまへ

沖縄県後期高齢者医療広域連合では、ハイサイ歯科健診を実施しております。

お手元にハイサイ歯科健診の受診券（8月下旬発送）が届いた方は、受診券に記載された歯科医院に電話予約の上、受診いただきますようお願いいたします。

【期間】令和7年9月1日（月）～令和8年1月31日（土）

【費用】無料（受診期間内1回限り）

【対象者】本部町にお住まいで令和7年4月1日時点で75歳～79歳の被保険者（ただし、要介護1～5の方、施設入所中の方、長期入院中の方を除く）

☎ 沖縄県後期高齢者医療広域連合 事業課
☎ 0980-963-8013



教育委員の就任について

6月定例議会において、教育委員として仲村三七子氏が専任同意され、令和7年7月1日付で就任しました。仲村氏は上本部地域でのPTA活動を中心に様々な教育活動を行ってきました。

任期は令和7年7月1日（火）から令和11年6月30日（土）までとなっております。



令和7年度 本部町 運動教室 ～健康講話・簡単筋力トレーニング体験～

今年度も本部町では運動教室を開催します。「運動不足を解消したい」「筋力をつけたい」などなど、運動や健康について関心のある皆さまへ指導経験豊富な講師が「運動のコツ」をご指導します。もちろん年齢や運動経験は問いません。誰でも出来る「筋力トレーニング」「健康づくり」を体験してみませんか？

場所	もとぶ元気村（健康科学財団ウェルネスセンター）
講師	矢貫 明子（介護予防運動指導員・貯筋指導者）
実施日	09/04（木）・09/11（木）・09/18（木）・09/25（木） 10/02（木）・10/09（木）・10/16（木）・10/23（木） 11/06（木）・11/13（木）・11/20（木）・11/27（木） ※お1人さま1クールの参加となります（月4回で1クール）
時間	午前10時～11時30分 ※午前9時55分より受付
料金	無料
持ち物	動きやすい服装、タオル、飲み物
予約	事前予約が必要です

※都合により講師や日程が変わることがあります

☎ 健康づくり推進課 ☎ 0980-47-5602



年金生活者支援給付金制度について

年金生活者支援給付金は、公的年金等の収入やその他の所得額が一定基準額以下の、年金受給者の生活を支援するために、年金に上乗せして支給されるものです。

【対象となる方】

■老齢基礎年金を受給している方

以下の要件をすべて満たしている必要があります。

- ☑65歳以上である
- ☑世帯員全員が市町村民税が非課税となっている
- ☑年金収入額とその他所得額の合計が約90万円以下である

■障害基礎年金・遺族基礎年金を受給している方

以下の要件を満たしている必要があります。

- ☑前年の所得額が約479万円以下である

【請求手続き】

①新たに年金生活者支援給付金をお受け取りいただける方
お受け取りの対象になる方には、日本年金機構から9月初旬頃から、請求可能な旨のお知らせを送付します。同封のはがき（年金生活者支援給付金請求書）に記入し提出してください。令和8年1月5日までに請求手続きが完了しますと、令和7年10月分からさかのぼって受け取ることができます。

②年金を受給しはじめる方

年金の請求手続きと併せて年金事務所または役場で請求手続きをしてください。

【日本年金機構や厚生労働省を装った不審な電話や案内にご注意ください！】

日本年金機構や厚生労働省から、電話でお客さまの家族構成や金融機関の口座番号・暗証番号をお聞きしたり、手数料などの金銭を求めることもありません。

年金生活者支援給付金のご請求でお困りになったときには、お電話ください。
『給付金専用ダイヤル』
☎ 0570-05-4092（ナビダイヤル）



第11回全九州ビーチバレーボール ジュニア選手権大会出場！

沖縄県代表 本部高等学校
2年 永田 未海・1年 崎浜 理子

【日時】令和7年6月27日（金）～29日（日）

【会場】西原きらきらビーチ



9月24日～30日は

「結核・呼吸器感染症予防週間」です！

【結核】

日本では年間約10,000人、沖縄県では年間100人以上が新たに結核を発症しています。

結核はどんな病気？

結核の症状（長引く咳、たん、微熱、体のだるさなど）には特徴的なものがなく、初期には目立たないことが多いため、特に高齢者では気づかないうちに進行してしまうことがあります。

結核は治る病気です

結核を発症しても、早期に発見し治療を受ければ重症化を防げるだけでなく、家族や友人等への感染拡大を防ぐことができます。

こんなときは早めに受診を！

咳やたんが2週間以上続いたり、微熱や体のだるさが続く場合は、早めに医療機関を受診しましょう。

【呼吸器感染症】

今般、新型コロナウイルス感染症をはじめとした呼吸器感染症の脅威が再認識されています。

呼吸器感染症が例年流行する秋・冬前だからこそ、マスク着用を含む咳エチケット、手洗い・手指消毒、換気など基本的な感染対策を心がけましょう。

※上記の文章は、厚労省のホームページR6年度の結核・呼吸器感染症予防週間ポスターの解説より。

※統計の数値については「結核の現状 令和6年版（令和5年資料）」から引用。

☎ 北部保健所 健康推進班 ☎ 0980-52-5219



『敬老会』開催のお知らせ

多年にわたり本町の発展にご尽力されました高齢者の方々に敬意を表し、長寿のお祝いと今後のご健康ご多幸を祈念し、敬老会を開催いたします。皆さまお誘い合わせのうえ、お越しください。

【日時】

9月26日（金）午後2時～

【場所】

もとぶ文化交流センター 大ホール
（本部町字大浜874番地1）



☎ 福祉課 高齢者福祉班 ☎ 0980-47-2165



平日忙しい人も安心。便利に活用してね

2025年9月

1 月	体操サークル(具志堅)
2 火	
3 水	買い物支援(合同会社健堅)
4 木	ウンケー 9/4～9/6まで マガヤーエイサー(新里区)
5 金	ナカヌヒー
6 土	ウークイ
7 日	
8 月	体操サークル(具志堅) ～9/13までシニグ (渡久地行政区) ウカタビ(瀬底行政区)
9 火	買い物支援(合同会社健堅)
10 水	買い物支援(具志堅) ウフユミ(瀬底行政区)
11 木	
12 金	
13 土	ハンブトーキ(瀬底行政区) シニグ行事(渡久地行政区)
14 日	若狭松おがみ(瀬底行政区)
15 月	敬老の日
16 火	
17 水	買い物支援(合同会社健堅)

18 木	買い物支援(具志堅)
19 金	
20 土	プロジェクト健診 もとぶコホート(～9/21)
21 日	本部町陸上競技大会 (本部町体育協会)
22 月	体操サークル(具志堅)
23 火	秋分の日
24 水	買い物支援(合同会社健堅)
25 木	買い物支援(具志堅) 資料整理日のため休館 (もとぶ文化交流センター 図書資料室) 本部町敬老会 (もとぶ文化交流センター)
26 金	
27 土	
28 日	
29 月	体操サークル(具志堅)
30 火	

友だち募集中!

本部町の暮らし情報や災害情報など、
各種情報をいち早くお届けします。

2025年10月

1 水	買い物支援(合同会社健堅)
2 木	買い物支援(具志堅)
3 金	
4 土	
5 日	
6 月	体操サークル(具志堅)
7 火	
8 水	買い物支援(合同会社健堅)
9 木	買い物支援(具志堅)
10 金	
11 土	
12 日	瀬底区民運動会 具志堅区民運動会 健堅区敬老会 野村流伝統音楽協会公演 (もとぶ文化交流センター)
13 月	スポーツの日
14 火	
15 水	買い物支援(合同会社健堅)
16 木	買い物支援(具志堅)
17 金	
18 土	おはなし会(もとぶ文化 交流センター図書資料室)

19 日	
20 月	体操サークル(具志堅)
21 火	
22 水	買い物支援(合同会社健堅)
23 木	買い物支援(具志堅) 資料整理日のため休館 (もとぶ文化交流センター 図書資料室)
24 金	
25 土	読書週間関連イベント～ 11/9(もとぶ文化交流 センター図書資料室)
26 日	浦崎直明独演会 (もとぶ文化交流センター) 健堅区民運動会
27 月	体操サークル(具志堅)
28 火	
29 水	カーウガン・フブウガン (具志堅) 買い物支援(合同会社健堅)
30 木	買い物支援(具志堅)
31 金	

本部町ちゅらまちづくり応援基金 ふるさと納税

令和7年7月1日～
令和7年7月31日分

件数551件
総額27,982,100円

ご寄附 ありがとうございます
ございました



9月・10月のマイナンバーカード時間外窓口、休日窓口の開設について

時間外、休日交付・申請窓口は右記の通りです
(マイナンバーカードの申請、交付、更新、暗証番
号の再設定などの手続きが可能です。交付に關して
は予約制になっております。申請は予約必要ありま
せん。お仕事帰りにでもお立ち寄りください。)

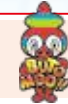
	時間外交付(毎週火曜日)	休日交付(毎月第2土曜日)
時間	午後5時30分～7時	午前9時30分～11時30分
9月	2日(火)、9日(火)、16日(火)、22日(月)、30日(火)	13日(土)
10月	7日(火)、14日(火)、21日(火)、28日(火)	11日(土)

電話予約・お問い合わせ

住民課 戸籍住民班
☎ 0980-47-2102

本部町でマイナ
保険証が使える
医療機関
(令和7年7月31日現在)

病院 もとぶ記念病院 もとぶ野毛病院 やんばるキッズファミリークリニック やまだクリニック
歯科 本部マリン歯科 もとぶ歯科医院 らいおん歯科
薬局 ふく薬局もとぶ店 アイン薬局美ら海店 ぱいん薬局もとぶ店 もとぶ薬局



9月は国保税3期・後期高齢3期の納付月です 納付期限：令和7年9月30日

9月の夜間納税相談日

令和7年9月25日(木) 午後5時30分～
7時30分

※毎月25日実施(25日が休日・水曜日であれば翌平日)※状況によ
り中止になることがあります。※納税相談の際は、事前に電話連絡を
お願いします。※9月は国保税2期・後期高齢2期・町県民税2期末納
の方に督促料100円が発生します。引き続き未納が続くと延滞金も発
生しますので、早めに納付してください。

【相談できる税】 ●固定資産税 ●町県民税 ●国民健康保険税
●軽自動車税(種別割) ●後期高齢者医療保険料

問 健康づくり推進課 ☎ 0980-47-2701

問 住民課 ☎ 0980-47-5629

納付月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
固定 資産税		○ 1期		○ 2期					○ 3期		○ 4期	
町県 民税			○ 1期		○ 2期		○ 3期			○ 4期		
軽自 動 車 税		○										
国保税				○ 1期	○ 2期	○ 3期	○ 4期	○ 5期	○ 6期	○ 7期	○ 8期	
後期 高齢				○ 1期	○ 2期	○ 3期	○ 4期	○ 5期	○ 6期	○ 7期	○ 8期	○ 9期

もとぶ野毛病院が 子ども・子育てゆいまーる基金へ100万円寄附



6月30日(月)、本部町役場において、もとぶ野毛病院による「本部町子ども・子育てゆいまーる基金」への寄附受領式が執り行われました。

この日、同病院の出口宝理事長、藤本孝子相談役、名渡山総務部長が来庁し、町長へ目録を手渡しました。寄附額は100万円で、本町の将来を担う子どもたちの育成と支援を目的とした基金への寄附となります。

今回の寄附金は、全国大会で輝かしい成績を収めている本部高校ウエイトリフティング部への支援に充てられます。もとぶ野毛病院は、2022年から同部への継続的な支援を行っており、地域の若者たちの努力と挑戦を後押ししています。出口理事長は「本部高校、そして本部町の発展に少しでも寄与できれば」と話しました。



本部高校ウエイトリフティング部へ寄附金を手渡す出口宝理事長

田村駒株式会社より企業版ふるさと納税による物品寄贈



平良町長へ寄贈品を手渡す堀社長(左から5人目)

7月11日(金)、田村駒株式会社(代表取締役社長 堀清人)より企業版ふるさと納税制度を活用した物品の寄贈があり、本部町役場にて贈呈式が行われました。

今回寄贈されたのは、カヤック、SUP、ライフジャケット、焚火台など全9品目・98点におよぶアウトドア関連用品で、今後はもとぶ元気村や田空ハーソー公園で活用される予定です。

贈呈式に出席した堀社長は、「本部町の美しい海や豊かな自然を守っていかうとする意識が高まるきっかけとなれば幸いです」と語り、本町の地域資源保全に対する期待を寄せました。

今回の寄贈を通じて、町内の自然体験型観光や環境教育の充実が期待されます。

株式会社沖食商事より本部町へお米券寄贈



7月23日(水)、名護中央公民館にて株式会社沖食商事(代表取締役社長 大城浩幸)より、お米券30万円分の贈呈式が行われました。

この寄附は、今年3月16日(日)に開催された「TOYOTA GAZOO Racing ラリーチャレンジ in 沖縄」において、同社が協賛した広告費用を地域の貧困問題の解決に役立てたいとの思いから、本レースの開催地である名護市および本部町へ寄贈されたものです。

大城社長は「沖縄の食を守り、お米を通じて笑顔を届けたい」と語り、地域社会への温かい支援の気持ちを表しました。



渡具知武豊名護市長(左から2人目)、平良武康本部町長(同3人目)にお米券を贈呈した沖食商事の大城浩幸社長(右)